

## 令和２年度 第１回野洲市総合計画審議会 議事録要旨

### ●日 時

令和２年１０月２日（金） １４：００～１６：００

### ●場 所

野洲図書館ホール

### ●出席委員（委員区分毎・５０音順）

１号委員：大野 裕己委員、田中 勝也委員、新川 達郎委員、原田 小夜委員

２号委員：浅田 邦保委員、入江 幸一委員、衛藤 信之委員、奥邨 武和委員、北村 真治委員、  
木村 靖委員、黒木 稔委員、柴原 喬委員、田中 悦子委員、田中 康嗣委員、  
中塚 勝委員、苗村 明夫委員、野口 明委員（代理出席：辻本氏）、羽田 慎二委員、  
林 かずみ委員、松沢 松治委員、水島 章夫委員、山口 桂子委員、山本 一郎委員、  
山本 博一委員

４号委員：井上 輝子委員、松井 佑太委員

### ●欠席委員（委員区分毎・５０音順）

２号委員：望月 幸三委員

### ●事 務 局

川端政策調整部部長、川尻政策調整部次長、玉川企画調整課課長、岡田企画調整課課長補佐、  
垂企画調整課専門員、亀井企画調整課主事

### ●傍 聴 者

１名

## １ 開会

（１）部長あいさつ

## ２ 報告事項

（１）総合計画ワークショップの結果について

—事務局より資料説明—

（２）今後のスケジュールについて

—事務局より資料説明—

## ３ 審議事項

（１）基本計画（案）について

—事務局より資料説明—

## ◇委員からの主な意見・質問

【委員】「１－１ 子育て支援の充実」の指標①であるが、待機児童数が現状も０、５年後の目標も０である。０をあげている理由は何か。また、指標③の目標数値は低いのではないか。

→【事務局】指標①は学童保育所の待機児童数であるが、学童保育所のニーズは年々増えている。増えるニーズに対応するための環境整備を今後も行い、待機0を目指すという意味合いである。指標③の児童虐待の終結に関しては、実態として終結が難しい中、現状より割合をあげていこうという目標を設定している。事務局としてはできる限りの目標設定をしている。

【委員】「1-1 子育て支援の充実」の施策目標である「すべての家庭が安心して子育てできる」は5年後の目標としては難しくないか。

→【会長】すべての家庭が安心して子育てできているかどうかはまだ不確かでも、できるようにみんなが協力して子育てしているという趣旨だと考える。

【委員】「1-2 青少年の健全育成」の指標①については、年々参加者が減少している中、目標の達成が難しくないか。

→【事務局】目標数値は平成28年から令和元年の平均参加率を維持するという形で算出されており、頑張れば達成できる数字である。

【委員】「1-3 学校教育の充実」の指標は、施策目標である確かな学力、豊かな心、健康な体とあまり関係していないのではないか。

→【事務局】学力はテストの点数の良し悪しだけではなく、自ら学ぶ力や学んだことを地域や社会に還元する力も含め、今後目指す学力とされている。豊かな心や健康な体を測る指標の設定は難しく、毎年実施している全国学力・学習状況調査の中から指標を設定した。

【委員】「1-3 学校教育の充実」の「ゲームやインターネットに費やす時間の見直しや読書活動の充実」の表現は、ゲームやインターネットは悪く、読書は良いという風に捉えられるので、表現を変えた方がいいのではないか。

【委員】「1-5 人権の尊重と多文化共生社会の実現」について、外国人はニューカマーを中心に書かれているが、オールドカマーの方々、特にアジア系のオールドカマーの方々についての議論はあったのか。

→【事務局】近頃増加している外国人との共生が主な話題であった。

【委員】「2-2 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり」について、在宅支援が強く出ているが、市民は在宅に対して不安が大きいと思う。世帯構成が変わっている中、家族の中で介護ができる人が減ってきている。

→【事務局】指標には施設のベット数の充足率も入っており、そちらを増やす目標も立てている。在宅支援が強く出過ぎて気になるのであれば、表現を修正する。

【委員】「3-4 歴史文化遺産の保全・活用」はグラフと指標の関連がないので、グラフを変更した方がいい。

→【会長】グラフ等については、内容と突き合わせて、どういう図表データを用いるのかを検討してもらいたい。

【委員】「4-2 自然環境・美しい景観の保全」について、人口が減ると、都市公園の面積が変わらなくても、一人当たり都市公園面積は当然増える。都市公園面積をこれだけ増やす、その結果こうなりますという数値にしないといけないのではないか。

【委員】「4-1 均衡ある土地利用の推進」について、「多極ネットワーク型コンパクトシティ」が何か分からないので、図等の説明が必要だと思う。

【委員】「4－3 生活環境の保全と上下水道サービスの安定供給」の指標①について、現状値が100%で5年後も100%であるが、100%を切る可能性があるということか。また指標④の石綿セメント管更新率は今28.4%で5年後に100%であるが、更新が遅いのではないか。

→【事務局】指標①については、きちんと環境測定を行い、100%を維持し続けるという目標となっている。指標④については、更新の計画の中で最重要として位置付けている。

【委員】「5－2 市民との情報共有の推進」は、広報チャンネル数を指標にしてもいいのではないか。

【委員】「5－3 効果的・効率的な財政運営」の指標②について、電子化率についても設定できるなら設定してもらいたい。

【委員】課題に対する施策の方針について、対処療法的な言い回しが多い。指標については、目標値が弱気に見えるので、もう少し強気の数字を出してもいいのではないか。

【委員】関連する個別計画の体系図が入ると、全体像が理解しやすい。

## (2) 基本構想（案）について

—事務局より資料説明—

### ◇委員からの主な意見・質問

【委員】本市を取り巻く社会経済情勢に関して、新型コロナウイルス感染症は社会経済に大きな影響を及ぼしており、追記するべきではないか。8ページの土地利用に関しては、鉄道2本に加えて、重要な交通機関である国道8号線も加えるべきである。9ページの産業別総生産額が平成23年度に減少した原因は東日本大震災の関係かと思うが、追記してもらえると分かりやすい。将来都市像は、元気はつらつに暮らすまちがいいのではないか。

【委員】26ページ冒頭の「以上のような」が何を指しているのか分かりにくい。27ページ、28ページの文末は揃えた方がいい。

【委員】3ページの冒頭が固いので、まず入りやすいよう工夫してほしい。将来都市像は、自然と未来の技術を取り入れたような「グリーンスマートシティ」というのはどうか。また、何々2.0とか5.0とかいうのが流行っているので「やす2.0」という言い方をしてみるのはどうか。それぞれの市民や行政が個性や多様性を尊重し、お互いを助け合ってよりよいまちを目指すというので、それぞれ色を持ち独立したという意味で「虹色都市やす」のような言い方はどうか。文字やグラフだけでは面白くないので、策定後のプロモーションや周知を考えても、将来都市像はこのままにして短いキャッチコピーをつけたほうがいいのではないか。

【委員】キャッチコピーだけでは何のことか分からないので、キャッチコピーと具体的な説明を入れるといいのではないか。キャッチコピーがある方が目立っている。

【委員】21ページの「集水域の森林の転換」については、不法投棄や不法開発により土砂災害や水源涵養に障害が出る等を想定しての転換か。

→【事務局】想定しているのは宅地等への転換である。

【委員】23ページの子育て・教育・人権の課題のところに、生涯学習のことが触れられていないので追記してほしい。

【委員】福祉・生活の課題についても、医療機能は安心・安全における大きな要素だと思うので、追記してほしい。

#### 4. その他

(1) 野洲市総合戦略について  
—事務局より資料説明—

#### 5. 閉会